

第76回 国民体育大会(平成33年三重県開催)に  
向けた施設整備への支援に関する

**要 望 書**



平成28年 11月

**四日市市  
四日市市体育協会**

# 要 望 書

平素は、本市のスポーツ振興及び国体準備の推進に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成33年の「三重とこわか国体」では、本市を会場にサッカー少年男子、テニス全種別、体操全種別及び新体操少年女子、自転車男女トラック・レース、軟式野球成年男子、カヌースプリント全種別、空手道全種別、ゴルフ成年男子の計8競技の開催が予定されております。

競技会場となる施設には、老朽化が著しいものや競技基準を満たしていないものもあり、本市で開催される競技種目を中心に、新たに**中央緑地には体育館とサッカー場**を、**霞ヶ浦緑地にはテニス場と野球場を整備**しております。

また、地震大国である日本においては防災や減災への対応が不可欠であり、まだ記憶に新しい東日本大震災や熊本地震発生の際には、体育館をはじめとする**スポーツ施設が避難所等として重要な役割**を果たしました。南海トラフ地震が迫っていることを知る本市には、市民の安全・安心の確保に努める責任があります。

そこで、「三重とこわか国体」の開催に間に合わせるため、そして市民の安全・安心の確保のために、**両緑地内施設の整備等を計画的に進めることが必要**であり、その整備等には、多額の費用を必要とすることから、国の社会資本整備総合交付金の重点的な配分等の支援が不可欠です。

つきましては、係る事情を御賢察のうえ、スポーツを通じた**地域の活性化と豊かな市民生活の実現、市民の安全・安心の確保**のため、本市のスポーツ施設の一層の整備推進に特段のご配慮を賜りたく、下記の事項について強く要望いたします。

## 記

**1. 四日市市中央緑地内の施設整備(体育館)に必要な社会資本整備総合交付金予算の確保をお願いします。**

**2. 四日市市中央緑地・霞ヶ浦緑地内の施設整備(サッカー場、テニス場)に必要な防災・安全交付金予算の確保をお願いします。**

平成28年11月

四日市市長 田中 俊行

四日市市体育協会会長 水谷 敏男

# 両緑地の整備内容

## 【中央緑地】

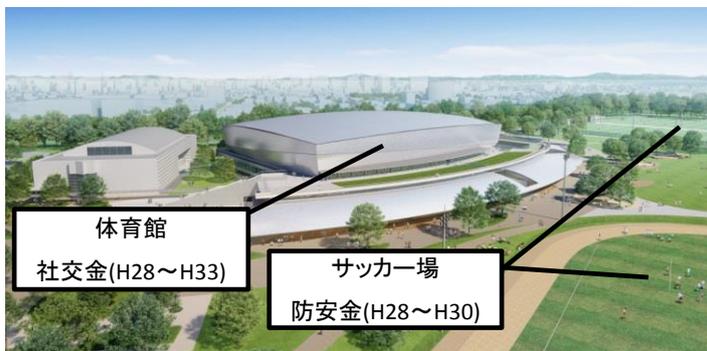
- ①体操・空手の会場となる**体育館**の整備(社交金)
- ②サッカー(少年男子)の会場となる**サッカー場**の整備(防安金)
- ③駐車場の整備(社交金)

## 【霞ヶ浦緑地】

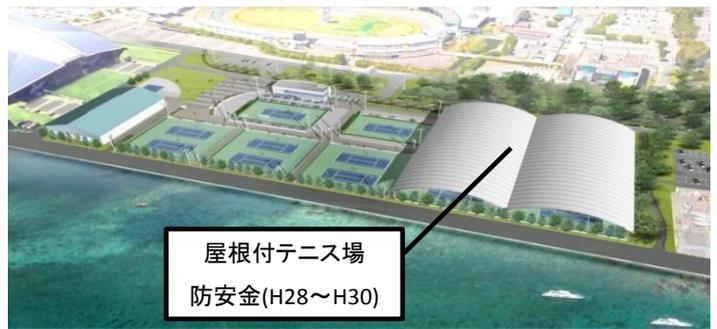
- ①テニスの会場となる**テニス場**の整備(防安金)
- ②軟式野球の会場となる**野球場**の整備(単独費)



### <完成予定図>



(中央緑地)



(霞ヶ浦緑地)

## 【事業効果1】

### 地域の振興と発展



(1975年三重国体開会式の様子)



(鈴木知事から田中市長へ国体旗贈呈の様子)

- ・約70万人の交流が生まれる
- ・地域スポーツの振興及び地域文化の発展につながる
- ・四日市市の魅力を全国に発信できる絶好の機会となる

## 【事業効果2】

# 新施設で「スポーツのまち、四日市」へ！

### 【アクセス利便性】

- ・名古屋駅からは  
電車(近鉄特急)で約30分の距離

### 【市内の宿泊収容客数】

- ・ホテルと旅館を合わせて3,077人が  
収容可能(平成26年12月末現在)  
であり、多くの宿泊施設が新施設  
から車で約20分以内の距離



⇒本市の交通アクセスや宿泊施設は、国際大会や全国大会を受け入れることのできる条件がそろっている。

### 【施設の集約 ※事業効果4図参照】

- ・中央緑地に体育館、サッカー場4面
- ・霞ヶ浦緑地にテニスコート28面、野球場3面

⇒整備後は施設が集約され、大規模大会の開催が可能となる。



### ＜今回の施設整備後、誘致可能となる大会例＞

- ・全日本シニア体操競技選手権大会
- ・ALL JAPAN GYMFEST
- ・ジャパンオープンジュニアテニス選手権大会
- ・全日本学生テニス選手権大会

etc・・・

特に、内村航平選手を筆頭に名だたる選手が出場する「全日本シニア体操競技選手権大会」は、今後、本市での開催に向けて、すでに三重県体操協会と協議を進めている段階であり、誘致できれば、大会期間中は非常に多くの交流人口と大きな経済効果が見込める。



# 施設整備によって利用者数が増加が期待できる

【例：平成24年度の三滝テニスコート改修】



左の例より、中央緑地と霞ヶ浦緑地に整備される施設においても大きな利用者数の増加が期待できる。

中央緑地と霞ヶ浦緑地の利用者数は年間約45万人。

例と同様に1.5倍になるとすると、年間利用者数は両緑地を合わせて

45万人⇒67.5万人へ増加

【参考：本市を代表するスポーツ】



四日市中央工業高校サッカー部  
全国高校選手権1回、全国高校総体2回の優勝



四日市工業高校男子テニス部  
全国高校総体2回、全国選抜1回の優勝



四日市商業高校女子テニス部  
全国高校総体、全国選抜ともに常連の強豪校



相好体操クラブ  
県内7カ所の教室を持ち、生徒数は日本一を誇る

# 【事業効果3】

## 地域への貢献

### 【中央緑地】 四日市あすなろう鉄道との連携

中央緑地周辺には、東海道など、多くの魅力的な地域資源が存在し、本市では、その魅力の一つである四日市あすなろう鉄道を生かしながら、国内外に広く情報発信するため、観光・集客・交流を目的としたシティプロモーションの取り組みを積極的に進めている。



中央緑地で開催されたロードレース大会  
ゼッケンにあすなろう鉄道

四日市あすなろう鉄道は、104年の歴史を持ち、国内で3路線しか現存していない特殊狭軌線（ナローゲージ）でもある。

延長7kmと短い路線であるが、通勤・通学を中心に、市の内外から年間約300万人の移動を支える大切な生活交通である。

平成27年度から、公有民営方式で生まれ変わり、地域とともに未来へ向かって走り続けている。



### 【霞ヶ浦緑地】 コンビナート企業との連携

霞ヶ浦緑地は、スポーツ公園として広く利用されているとともに、第3コンビナートにおける、工場立地法に規定されている工業集合地特例の適用を受けた隣接緑地として、企業の投資に寄与している。

また、企業の利用負担金を緑地整備に利用するなど、企業と一体となった緑化整備につながっている。



企業負担金により  
整備された緑地

#### 第3コンビナート企業の投資額

平成20年度	化学メーカー	2社	約28億円
平成21年度	化学メーカー	2社	約77億円
	鉄鋼メーカー	1社	約29億円
平成22年度	化学メーカー	1社	約11億円
平成25年度	鉄鋼メーカー	1社	約7億円
平成26年度	化学メーカー	1社	約120億円
平成27年度	化学メーカー	1社	約30億円

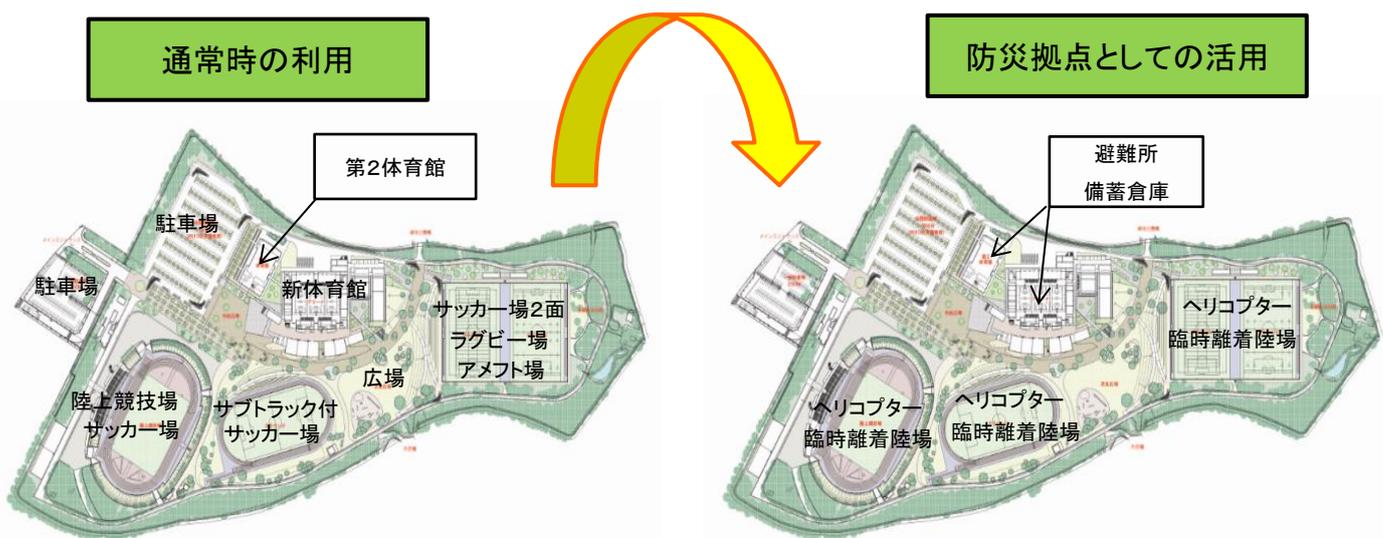
(マスコミ報道にて確認されているもののみ記載)

## 【事業効果4】

# 災害発生時の施設の活用

南海トラフ地震が発生する確率は、今後30年以内に80%以上とされています。整備後の施設は、大地震等の災害発生時に避難所等の役割を果たし、「市民の安全・安心の確保」に大きく貢献します。

## 【中央緑地】



・ヘリコプター臨時離着陸場を3か所確保

⇒緊急時の迅速な対応が可能となる。

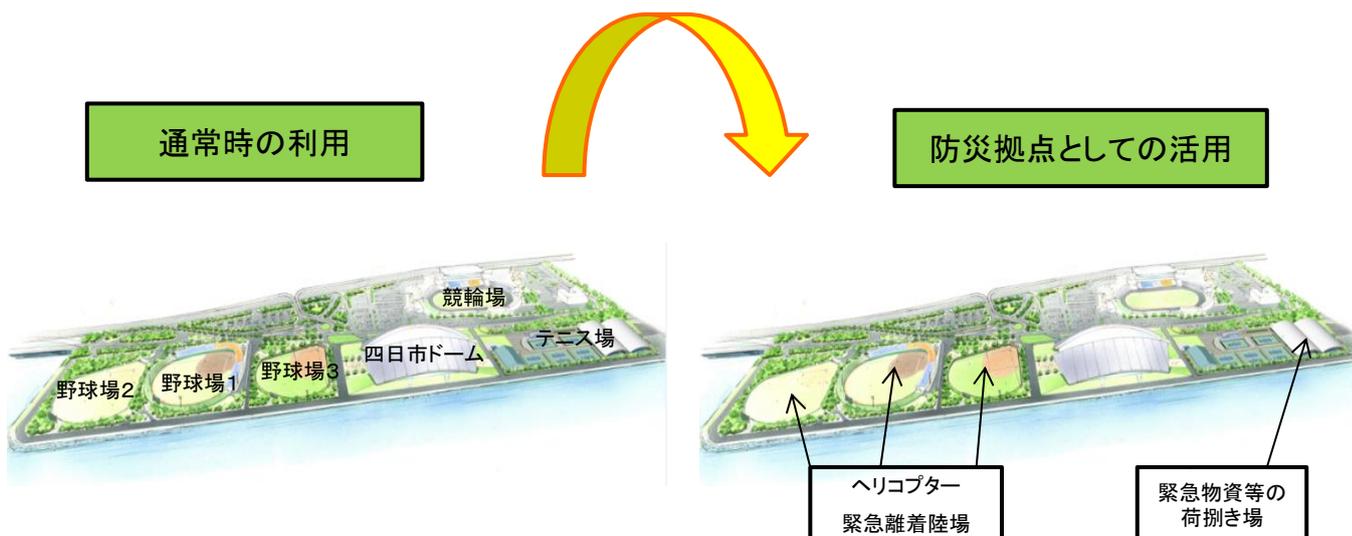
・新体育館のアリーナ面積は「1,936㎡→3,220㎡」となり、約1.7倍に拡大

避難所の収容可能人数は「約500人→約850人」に増える

⇒災害時に避難所として、

より多くの方々を受け入れることができる。

## 【霞ヶ浦緑地】



- ・ヘリコプター臨時離着陸場を3か所確保  
⇒緊急時の迅速な対応が可能となる。
- ・約7,000㎡の屋根付テニスコートが整備される  
⇒緊急物資の集配や荷捌きのスペースが確保できる。
- ・緊急消防援助隊の進出拠点となる  
⇒災害時に周辺県から援助が期待できる。

(参考写真):本市の災害の歴史



昭和28年の台風13号による  
四日市港の惨状



昭和34年の伊勢湾台風による  
富洲原海岸部の惨状